

2016入試説明会

陸域生態系管理論分野



ザンビア/焼畑は持続的か？

舟川晋也（教授）

渡邊哲弘（助教）

真常仁志（准教授）

岡本侑樹（特定助教）

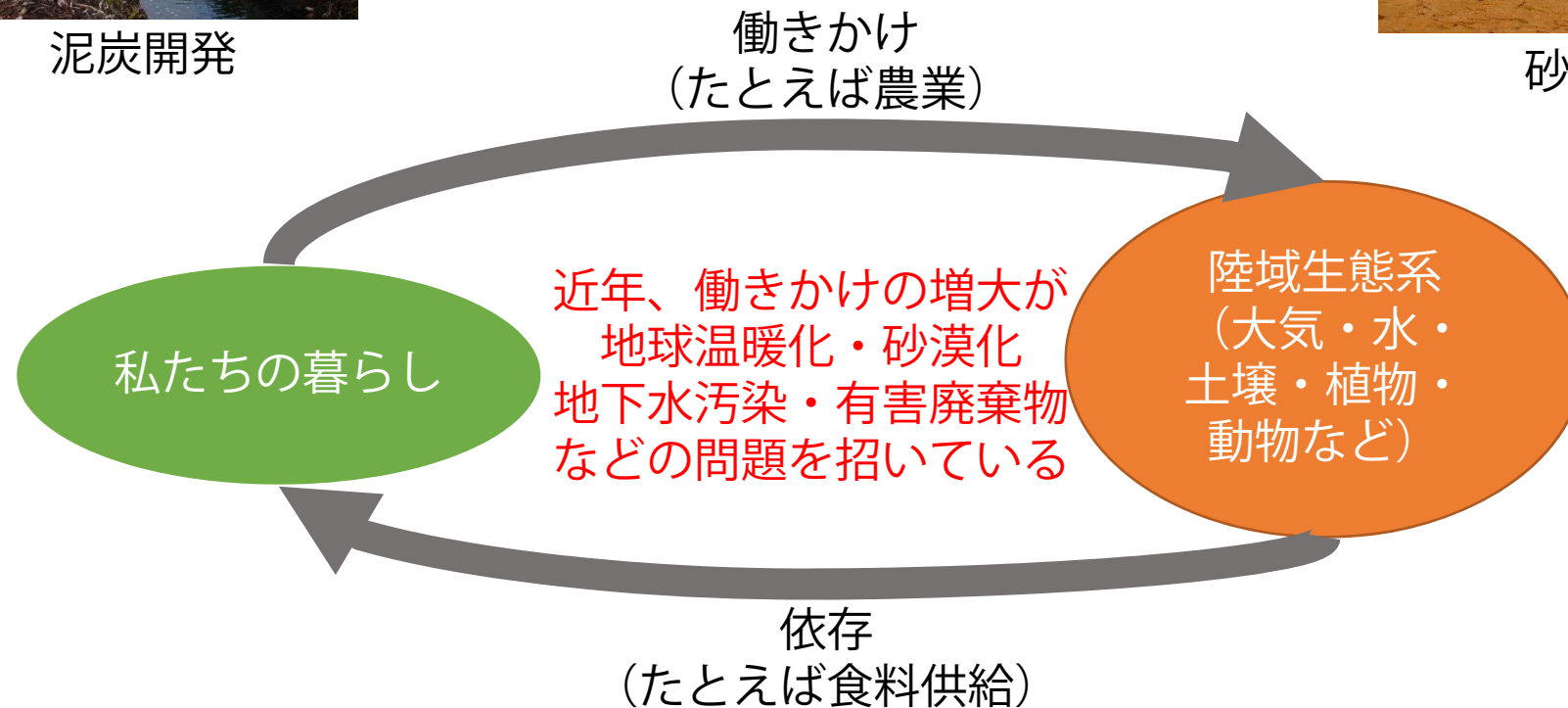


泥炭開発

今後のあるべき陸域生態系の姿と 私たちの働きかけのあり方とは？



砂漠化



1. 生態系内をダイナミックに移動する炭素、窒素、リンなどの元素の動態を物理的・生物的プロセスの面から明らかにする
2. 私たちの働きかけに伴うこれらプロセスの変容を解明し、将来予測を行う
3. その社会背景についても同時に吟味する

最近の研究課題（修士・博士の研究テーマより）

生態環境と暮らしを複合的に理解する

- ベトナム中部タムジャンラグーンにおける漁場環境と生業
 - ベトナム中部の山間地域における住民の生業と内水面資源の利用可能性
ー少数民族カトゥの村落を事例にー
- 南部アフリカ・ナミビアにおける雑草害と土壌・土地利用との関係
 - 西アフリカ・サヘル地域における村落部住民の生業行動
カメルーン東部州の村落における生計手段の概況とその変遷
 - ブルキナファソにおける農業技術の変容とその背景
- 日本の里山における人々の暮らしと自然利用

提案予定の研究テーマ例

アジア

- ヤシと熱帯林の共存は可能か？
(インドネシア・スマトラ島、森林保全)
- カザフスタン市民による自律的資源管理システムの構築
(カザフスタン、砂漠化対処)

アフリカ

- 西アフリカ・コンゴ盆地における自立的・持続的生業戦略の確立
(カメルーン東南部、国際協力・森林保全)
- 砂漠化対処に向けた生態環境と生業の相互作用の解明
(半乾燥熱帯アフリカ、砂漠化対処)

汎アジア・ アフリカ

- 商業的熱帯農業における養分流出負荷軽減に関する研究
(タイ、タンザニア、環境保全)
- 熱帯アジア・アフリカにおける気候変動適応型農業の創出
(アジア・アフリカ諸国、農業開発)

日本

- 里山利用の生態系生態学 (日本、環境保全)

＊他研究科、地球環境学舎の他分野との共同研究も行なっています

現地調査

